



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 小 林 正 啓
幹 事 金 山 信 利 会 報 委 員 長 元 氏 成 保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2505

2021-10-15

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30



Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度国際ロータリー会長 シェカール・メータ

本日の例会

10月15日(第3例会)

- 例会場 シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間
- 卓話 「私の仕事」
4年前に起こった自身7例目の保険金支払いについての思い出をお話します。
細川直人会員

次週のお知らせ

10月22日(第4例会)

- 例会場 シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間
- 卓話 「ロータリークラブ入会を振り返って(コロナ禍とともに)」
入会歴が2年に満たない私が考えるロータリークラブの事。
いきなりコロナ禍に見舞われた体験談
野村 篤会員

- 食膳 <カレー>

次々週のお知らせ

10月29日(第5例会)

- 例会場 シェラトン都ホテル大阪 4階 浪速の間
- 卓話 「私の趣味と仕事」
尾崎 巖会員

先週の記録

10月8日(第2例会)

●出席報告

出席会員 33名(内免除会員6名)
 会員総数 46名(同上12名)
 ゲスト 0名
 ビジター 0名
 計 33名

ホームクラブ出席率82.50%
 9月10日(第2例会)補正出席率100%(MU5名)

◆会長の時間◆

10月1日、JASSO大阪日本語教育センターにて「コロナに負けるな！留学生応援プロジェクト」食堂支援金贈呈式が開催されました。これは、コロナ禍により留学生が減少し、しかも在留学生のアルバイト先も減り、留学生と食堂とが経済的苦境に立たされていることから、学

生食堂の定食(480円)のうち200円を補助し、280円で定食が食べられるようにするため、当クラブと地区から合計120万円(6,000食分)を贈呈するものです。贈呈式では、インドネシアのオウム・ステファニー・ナオアンさんから感謝状の贈呈と、ミャンマーのリン・ニャン・トゥンさんからの御礼の言葉を頂戴しました。この企画を発案され実現された西谷さん、岡部(倫)さん、松田さんをはじめクラブ会員の皆様に留学生からの感謝の意を伝えます。



▲贈呈式

10月3日、野中一彦元会員が享年87歳で逝去されました。数年前になりますが、痔瘻をテーマに大変興味深い卓話をカラー写真付きでなされたことを懐かしく思い出します。

心よりご冥福をお祈りします。

◆幹事報告◆

- 2021年10月のロータリーレートは、1ドル=112円となります。
- ハイブリッドでの例会参加の会員は食事の用意がありますので、例会前日午前中までに事務局にメールでお知らせください。お願い致します。

◆委員会報告◆

青少年奉仕委員会 濱田由弘委員長
 秋のRYLAオンラインセミナーのご案内が来ております。摂津ロータリークラブが担当されており、募集チラシは例会掲示板にて確認できます。

日程は10月30日(土)、31日(日)と11月3日(水/祝)の3日間です。今回はオンラインで開催ですので参加ご希望の方は、10月30日までに2660地区ホームページを確認頂き参加URLにてご参加ください。よろしくお願い致します。

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

R財団・米山奨学委員会 村上泰啓委員長
今月は米山月間です。ロータリー米山記念奨学事業の
豆辞典をポストします。ご参考にしてください。

なお、ロータリー財団・米山奨学に対するご寄付が未
だの方は、どうぞよろしくお願い致します。

雑誌・広報委員会 恒元直之委員長
「ロータリーの友」2021年10月号紹介

【10月号 横組記事より】

P.5

[シェカール・メータRI会長メッセージ:親愛なるチェン
ジメーカーの皆さん(RI指定記事)]

10月は「地域社会の経済発展月間」です。国連によ
ると世界の人口の9%(約7億人、ほとんどはサハラ
砂漠以南のアフリカに居住)が一日1.9ドル未満
で暮らしています。ロータリーは、これ等の人々
に対する直接的な人道的奉仕活動に加え、地域社会
の経済を発展させるための職業訓練や起業家に対
する融資等の間接的支援を通してこれらの人々の暮
らしを良くすることが出来ます。

また、10月24日は「世界ポリオデー」です。ポリオ
根絶に向けたロータリーの活動と成果に誇りを持
つと共に、根絶実現に向け更なる意識向上と資金集
めに心を新たにしたいものです。「奉仕は
我々が地球で暮らすために支払うべき使用料であり、
奉仕は人生の一部であり生きがいである」は
メータ会長の信念であり信条です。「奉仕しよう、
みんなの人生を豊かにするために」今年度のRIテーマ
に込めるメータ会長の思いが伝わります。

P.7~10

[地域社会の経済発展月間特集:千代女が照らすこの街
の未来]

「朝顔に 釣瓶とられて もらひ水」の俳句で知られ
る女流俳人 加賀千代女(かがのちよじょ:1703~
75年)は石川県白山市出身です。創立50周年を記念
し、千代女のキャラクターを生かした地域活性化に
取り組む、地元白山RCの活動が紹介されています。
産官学挙げての取り組み、市民を巻き込んだ活動、6
年にわたる長期的な取り組み等、会員の熱意と工夫
そして努力がしのべれます。

P.24~25

[多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーの
コミットメント(RI指定記事)]

ロータリーは、今後DEI(Diversity:多様性、Equi-
ty:公平さ、Inclusion:様々な価値観を受け入れ生か
す包括性)への取り組みをより強化することを打ち
出しており、今後DEIはロータリー活動のキーワ
ードの一つとなります。

この度、多様性・公平さ・インクルージョンへの
ロータリーのコミットメント(公約)が公開され、そ
の内容、メータRI会長、ジョーンズRI会長エレクト
(国際ロータリー初の女性RI会長となります)から
DEIへの取り組みについてのメッセージ、各クラブ

での具体的な取り組み方法が記載されています。
インクルージョンは様々な価値観を認め、良いと
ころを生かして融合させ活用するという意味です
が、これを表現する適切な日本語訳はまだありま
せん。

【10月号 縦組記事より】

P4~8

[グローバルとローカルー現代世界の中の「地方創成」]

2020年2月9日に開催された2790地区(千葉県)
地区大会での前千葉大学理事・副学長 山田 賢氏
の講演の要旨です。

わが国では、人口減少や都市集中による地方の
過疎化対策として、2014年より「地方創成」が政策
として進められ、台湾や中国などアジア各国でも
同様の動きが盛んですが、必ずしもうまく進んで
いません。類似する地方創成戦略が過当競争で共
倒れ状態になっていることも原因の一つです。一
方、トランプ前大統領の「America First」に代表さ
れるように、グローバリズムへの反発が強まり、そ
の対極としてローカル志向がもてはやされる傾向
にあります。

地方創成には地域の真の独自性に立脚した新た
な発想が必要であり、グローバル志向とローカル
志向は相反するものではなくグローバルな動向と
無縁なローカリズムは成り立たない等、差別化の
ための卓越したアイデアと高く広い視野が必要と
の示唆に富む内容です。

P.9~12

[この人を訪ねて]

今回は、カリカリ梅で有名な前橋の老舗漬物
メーカーで社長として会社を切り盛りし忙しい毎
日を送る、前橋RCの遠山昌子さんです。遠山さんは
元タカラジェンヌで宙組の男役として活躍してい
ましたが、死に瀕した祖父の思いを受け25歳で宝
塚歌劇団を退団し実家の事業を継ぎました。右も
左も分からない中から立ち上がった波乱の人生が
紹介されています。

卓 話

10月8日〈第2例会ハイブリッド〉

「ポスト・コロナを考える」

浅井 晃会員



昨年の2月以来、常にコロナの話ば
かりでしたので、別の話題も考えてみ
ましたが、明日に向けてこれを最後に
との願いを込めてお話を致します。

10月に入り新規発生者数は急速に
減少傾向を示しています。これはひと
えにワクチン接種の効果と考えられます。9月30日現在
の年齢別ワクチン接種率(2回接種修了)において、12歳
から19歳は24.39%で最も低く、次の20歳代においても
37.54%と低値で、新規発生数と接種率の逆相関がこの
間の事情をよく表しています。ワクチンこそが、予防の最

会員増強にご協力を!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

も有効な手段と断言できます。

ほとんどの人が常にマスクをかけていたにも関わらず、新規発生が続いたことから、マスクでは感染を防ぎきれなかった事が判ります。飲食時の会話や、手洗い不十分な手指での手食などによる感染が従来から指摘されています。洗濯機でもすすぎの時間が最も長い様に、手洗いにおいては石けんの種類よりも、十分に時間をかけて流水ですすぐ事が効果を高める為に重要なのです。

我が国では、衛生的な水を只同然でどこでも使用することができます。安全な水を供給されている事の有り難さを実感します。水と衛生の問題は、今回のコロナに限らず、今後も我々人類に襲いかかる感染症に立ち向かう上で、日常生活において大変重要な課題である事を再認識させられました。

また一方、今日の医学はパンデミック発生から1年以内にワクチン使用を可能にしました。開発を牽引したのはアメリカです。我が国はワクチンを全て輸入に頼らなければならず、科学技術の立ち後れがコロナ制圧を遅らせた事は明白です。科学の重要性を改めて認識し、科学への投資は社会奉仕として大きな意義がある事を痛感するところとなりました。これらの経験は貴重な教訓として、これからのロータリー活動の原動力となるものと感じています。



▲久しぶりの会食

にこにこ箱

10月8日(第2例会ハイブリッド)

- 野中バスト会長のご冥福をお祈りして。
上会員
- 入会して早27年が経ちました。光信会員を目指して頑張ります。
南賀会員
- 長期欠席お詫び
中谷会員
- 青野さん、お世話になりました。ありがとうございました。
宮田会員、野村会員
- その他、お祝い等 9件

(編集担当 元氏・佐伯)

会員増強にご協力を!!